

みずほCustomer Desk Report 2016/10/26 号(As of 2016/10/25)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	104.49
					GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	104.34	1.0874	113.42	0.9939	1.2227	0.7593
SYD-NY High	104.87	1.0905	113.89	0.9999	1.2243	0.7656
SYD-NY Low	104.10	1.0851	113.39	0.9933	1.2082	0.7589
NY 5:00 PM	104.23	1.0888	113.49	0.9946	1.2190	0.7645
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)		9.225/9.575	△25RR	1.228	Yen Call Over	
NY DOW	18,169.27	▲ 53.76	債券市場	日本2年債	-0.2500	▲0.9bp
NASDAQ	5,283.40	▲ 26.43		日本10年債	-0.0650	▲1.4bp
S&P	2,143.16	▲ 8.17		米国2年債	0.8523	1.2bp
日経平均	17,365.25	130.83		米国5年債	1.2742	-
TOPIX	1,377.32	9.71		米国10年債	1.7560	▲0.9bp
シカゴ日経先物	17,380	15.00	為替市況	独10年債	0.0300	0.7bp
ロンドンFT	7,017.64	31.24		英10年債	1.0890	0.7bp
DAX	10,757.31	▲3.86		豪10年債	2.2760	3.6bp
ハンセン指数	23,565.11	▲ 38.97		USD/CNH	6.7756	▲ 0.0073
上海総合	3,131.94	3.69		ドルインデックス	98.73	▲0.03
USDJPY 3M Vol	9.97	0.16%	商品市況	CRB指数	189.347	▲0.09
USDJPY 6M Vol	10.25	0.06%		NY金	1,273.600	9.90
EURJPY 3M Vol	10.46	▲0.17%		WTI	49.960	▲0.56
EURJPY 6M Vol	10.94	▲0.20%		Dubai Spot	47.81	▲0.22

東京	ドル円はロニー時間に104.16をつけた後は堅調に推移し、東京時間のドル円は104.34レベルでオープン。高寄りした日経平均株価が上げ幅を拡大する中、104.30-40台で小確りとした展開。直近高値である104.63が意識される状況で、104.49の東京時間高値をつける。但し、上昇したところでは実需勢の売りが待ち構えているとの見方もある中、104.50を上抜けする展開とはならなかった。注目される経済指標の発表もなく新規材料に欠ける中、午後にかけも104.30-40台での狭いレンジ推移が継続。結局、ドル円は104.40レベルにて海外に渡った。(東京時間15:30)
ロンドン	本日ロンドン市場ドル円は上昇した。104.40レベルでオープン。前半は材料難の中、幅幅10銭以内の小幅レンジ推移が続いたものの、その後は主要欧州株の堅調な推移を背景にリスク回避ムードが弱まり、ドル買い円売り優勢の展開となった。アジア時間に抑えられていた104.50を上抜け104.60まで上昇後、104.55レベルにてNYへ渡った。ポンドドルは方向感に欠ける動きとなった。1.2223レベルにてオープン。独10月IFO業況指数が110.5と2014年4月以来の高水準な結果となったことでユーロドルが上昇。ユーロドルにつられ、ポンドドルも1.2243まで値を上げた。その後は特に注目される材料も無く、1.2225レベルにてNYへ渡った。(ロンドン・ルフト 00531 444 179 丸野)
ニューヨーク	ドル円は104.55レベルにてNYオープン。朝方は米大手紙がサフランスコ連銀クリアムズ総裁の「利上げのタイミングは12月が適切」との発言を報じたことや、英中銀カーニー総裁の議会証言を控えた神経質な値動きからポンドが対ドルで大幅下落してドル高地合となったことから、ドル円は104.87の高値まで上昇。しかし105円台手前では売り意欲も強く、米10年債利回りが下落に転じたことや、米10月消費者信頼感指数が予想を下回ったことから、ドル円は一時104.10まで反落。この水準では下げ渋ったが、米株式市場加一後に米大手ITの決算を控えていることもありダウ平均がマイナス圏で推移したことや、先月のOPEC会合での減産合意に対して不透明感も出てくる中でWTIが50ドルを割り込んだこともドル円の上値を抑える要因となり、104.23レベルで海外市場に渡った。一方ユーロドルは1.0876レベルにてNYオープン。カーニー総裁の証言を前にポンドドルが大幅下落し、ハードブレグジット懸念が強まったことから一時1.0851まで下落。しかしその後ポンドドルが値を戻したことで、ロンドン時間に発表された独10月IFO企業景況感指数が予想を上回ったことも再び意識され、ユーロドルは1.0905まで反発。結局1.0888レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 島田・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月25日	17:00	独 IFO企業景況感指数(総合/現況/期待)	10月 110.5/115.0/106.1	109.6/114.9/104.5
	23:00	米 消費者信頼感指数	10月 98.6	101.5
	23:00	米 リッチモンド連銀製造業指数	10月 -4	-4
	23:35	英 カーニー・英中銀総裁 議会証言	-	-
10月26日	02:00	米 ロックハート・アトランタ連銀総裁 講演	-	-

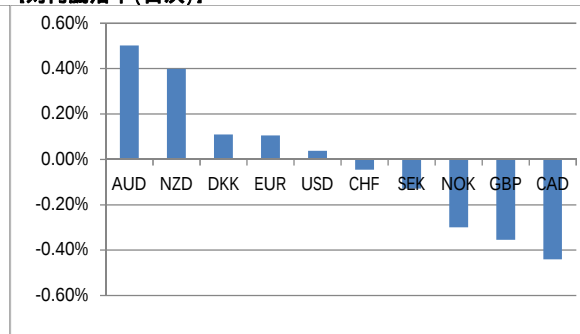
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月26日	09:30	豪 CPI(前期比/前年比)	3Q 0.5%/1.1%	0.4%/1.0%
	15:00	独 GfK消費者信頼感	11月 10.0	10.0
	17:30	英 BBA住宅ローン承認件数	9月 37,350	36,997
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	0.6%
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	9月 0.1%	-0.2%
	22:45	米 マークイットPMI(サービス業/総合)・速報	10月 52.5/-	52.3/52.3
	23:00	米 新築住宅販売件数	9月 600K	609K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.50 - 104.50	1.0850-1.0950	112.70-114.20

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円相場は堅調推移。東京時間104円台半ばで推移していたドル/円相場は、Fed高官のタカ派的発言や英カーニー・BOE総裁の議会証言を警戒する思惑から対英ポンドでのドル買いが優勢となった事を背景に、対円においてもドル高が進行し約3ヶ月ぶりとなる高値104.87を付けた。その後は、米消費者信頼感指数の市場予想を下回る結果や米長期金利の低下、原油相場の軟調推移等を嫌気し、ドル/円相場は104円台前半まで水準を切り下げた。本日のドル/円相場は揉み合い展開を予想する。来週の日銀金融政策決定会合やFOMCおよび米10月雇用統計、再来週の米大統領選投票日という重要イベントを控え、引き続き値幅を伴った相場変動は想定し難い。月末を控えた輸出企業のドル売り圧力や、米株式や原油先物相場の軟調推移を受け日経平均株価が軟調推移する可能性も考えられ、104円ちょうどを中心とする揉み合い展開を予想する。